

JL05101 防爆構造 d2G4

付属品

〔錠締工具・携帯バンド・予備電球〕

お買上げありがとうございます。ご使用前によくお読みの上、正しくお使いください。必ず保管してください。

安全に関する注意

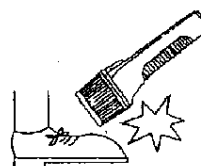
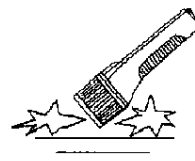
⚠ 警告

- この器具は、労働安全衛生法で定められた防爆電気機器です。
関連法規等を知らない方は取扱いしないでください。爆発の原因となります。
- 保守点検は防爆構造の知識、及び技能を持った専門家に依頼してください。部品の交換が必要な時は、商品をいったん引取りますので、松下電工の営業所、もしくはエンジニアリングセンターに連絡してください。
- 器具を改造したり、部品交換をしないでください。火災・爆発の原因となります。
- 錠締工具は責任者が保管し、ランプや電池の交換は責任者の指導により、周りにガス発生のない安全な場所で行ってください。火災・爆発の原因となります。

*1. 関連法規等とは、労働安全衛生法、工場電気設備防爆指針、ユーザーのための工場防爆電気設備ガイド（産業安全技術協会発行）を指します。

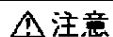
⚠ 注意

- むやみに衝撃を与えないでください。
気密構造の劣化により、火災・爆発の原因となります。
- 雨中での使用後は、水をふきとってから保管してください。
浸水・腐食により、火災・爆発の原因となります。
- 水中では使用しないでください。
浸水・腐食により、火災・爆発の原因となります。
- 携帯バンドを使い、首から肩にかけて使用してください。
落下衝撃により、けが・爆発の原因となります。
- 薬品やガスの存在する場所には放置しないでください。
腐蝕、膨潤により、火災・爆発の原因となります。
- 使用しない時は、必ずスイッチをOFFにしてください。
保管状態に不備があると、火災の原因となります。
- 長期間器具を使用しない時は、乾電池を取り外してください。
乾電池の液漏れ腐蝕により、火災・爆発の原因となります。



クロルスルホン酸、発煙硝酸、二酸化炭素、四塩化炭素、ベンゼン、ブチルフラレート、デカリン、ジクロロエタン、アーキシレン、酢酸エテル、M-ペブタン、塩化エーテル、エチルエーテル、イブチルアルデヒド

電池の入れ方(交換)



△注意 下記内容をよくお読みのうえ、正しくご使用ください。

●電池の入れ方(交換)

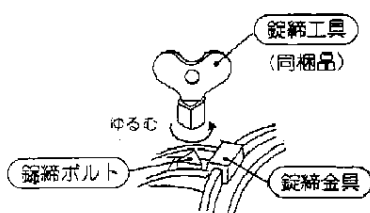
適合乾電池

単一乾電池(UM-1)×3個

(寿命の長いナショナルハイトップをおすすめします。)

①錠締工具(同梱品)で錠締ボルトをゆるめる。

(注) 錠締工具以外を用いた時、部品の変形・破損が発生することがあります。



③新しい乾電池を入れる。

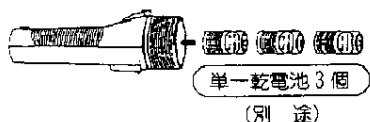
(注) 極性を間違えないよう、下図で確認してください。不備があると、爆発の原因となります。

(注) 乾電池はすべて新品に交換してください。

新・旧混入すると、爆発の原因となります。

(注) 乾電池の種類を混同しないでください。

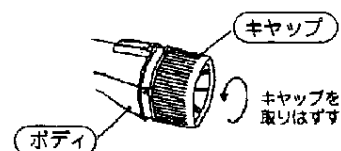
混同すると、爆発の原因となります。



②キャップを回してはずす。

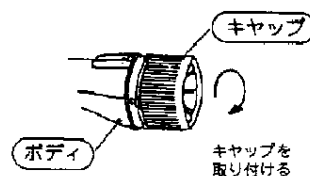
(注) むやみに衝撃を与え、ネジやリングにキズをつけないでください。爆発の原因となります。

(注) ガラスにキズがついた時は、キャップごと交換してください。キズがついたまま使用すると、爆発の原因となります。



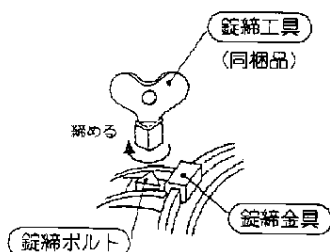
④キャップをボディに取り付ける。(軽くキャップを締め切った状態までねじ込む。)

(注) 強く締めすぎると、ネジの損傷や動作不良により、爆発の原因となります。

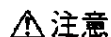


⑤錠締ボルトを締め、錠締金具を固定する。

(注) 錠締ボルトを強く締めすぎないようにしてください。締めすぎるとネジを潰し、爆発の原因となります。



点灯方法と使い方

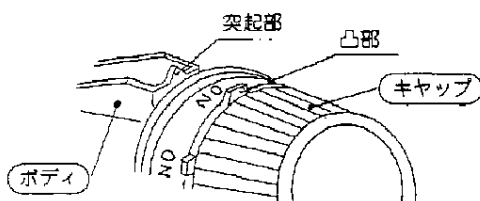


△注意 下記内容をよくお読みのうえ、正しくご使用ください。

●点灯方法

①キャップを回し、ボディの突起部にキャップのON表示(凸部)を合わせる。

(注) 使用しない時は、必ず消灯してください。火災・爆発の原因となります。

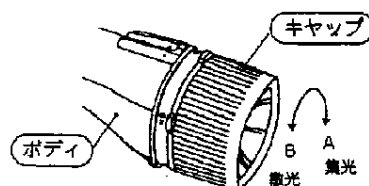


●使い方(集光・散光)

①キャップを回すと、集光・散光の切り替えができます。最適な点灯位置でご使用ください。

(注) 集光から散光の切り替えは4段階です。

(集光→○→○→散光) キャップを無理に回さないでください。部品の損傷が火災・爆発の原因となります。



■保証書について

1：保証について

この商品の保証期間は1年間です。

ランプ・電池等の消耗品は除きます。詳細は弊社カタログをご参照ください。

2：保証書に付いて

保証書が必要な場合は、弊社代理店または弊社営業所へお申し出ください。

3：補修用性能部品の保有期間

弊社はこの照明器具の補修用性能部品の製造打ち切り後、最低5年間保有しています。
性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

ランプ交換方法 ⚠注意 下記内容をよくお読みのうえ、正しくご使用ください。

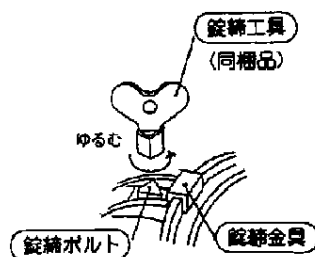
適合ランプ	探見球
	MB-38G5/2B
	3.8V 0.5A
	松下電池工業(株)製

●ランプ交換

適合ランプ 3.8V 0.5A

① 錠締工具（同梱品）で錠締ボルトをゆるめる。

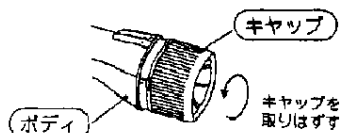
(注) 錠締工具以外を用いた時、部品の変形・破損が発生することがあります。



② キャップを回してはずす。

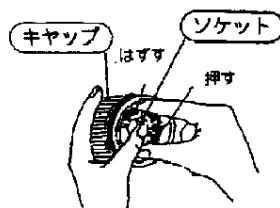
(注) むやみに衝撃を与え、ネジやOリングにキズをつけないでください。爆発の原因となります。

(注) ガラスにキズがついた時は、キャップごと交換してください。キズがついたまま使用すると、爆発の原因となります。



③ ソケットの中央を指で押え、左に回しはずす。

(注) 無理な力を加えたり、手指をすべらすとけがの原因となります。



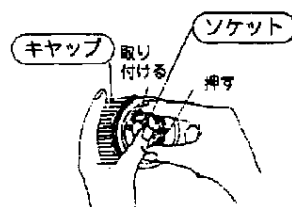
④ 新しいランプをソケットに取り付ける。

(注) 無理な力を加えたり、手指をすべらすとけがの原因となります。



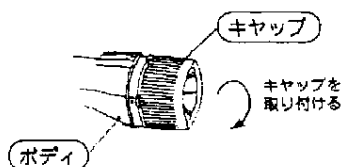
⑤ ソケットを取り付ける。

(注) 無理な力を加えたり、手指をすべらすとけがの原因となります。



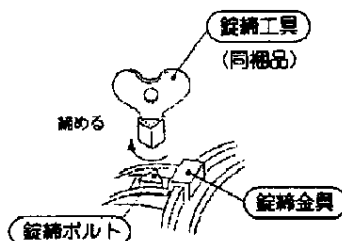
⑥ キャップをボディに取り付ける。(軽くキャップを締め切った状態までねじ込む。)

(注) 強く締めすぎると、ネジの損傷や動作不良により、爆発の原因となります。



⑦ 錠締ボルトを締め、錠締金具を固定する。

(注) 錠締ボルトを強く締めすぎないようにしてください。締めすぎるとネジを潰し、爆発の原因となります。



お手入れ ⚠ **注意** 下記内容をよくお読みのうえ、正しくご使用ください。

- 器具の清掃について……汚れを落す場合は、石けん水をひたしたやわらかい布をよく絞ってふきとり、乾いた布で仕上げてください。
- ・シンナーやベンジンでふかないでください。変色・変質の原因となります。
- ・ガラスに衝撃を加えないでください。爆発の原因となります。